

高松塚壁画館 夏休み企画展

牽牛子塚古墳 今昔物語

高松塚壁画館近くの園路から西を眺めると、貝吹山の中腹辺り…真弓丘陵の一角に白亜の墳丘を見ることができます。この白亜の墳丘こそ「牽牛子塚古墳」です。牽牛子塚古墳は令和4年2月に環境整備を終えました。詳細な発掘調査に基づいて、周辺の地形や古墳の外観は築造当時を再現しています。また、劣化した墳丘や埋葬施設を保護するために、補強盛土や凝灰岩で覆って、シェルターの役割を果たしています。

今回の夏休み企画展では、牽牛子塚古墳をフィーチャーしました。牽牛子塚古墳は飛鳥時代7世紀の斉明天皇の真陵とされています。

現在「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録を目指しております。「牽牛子塚古墳」も、そしてこの「高松塚古墳」もその構成資産の候補地となっています。

夏休み期間中に本企画展を通して、牽牛子塚古墳が、なぜ構成資産の候補地になっているのか、考古学的価値や歴史的な背景を現地散策しながら探ってみてはいかがでしょうか。



●展示期間

令和6年7月20日(土)
～8月31日(土)
会期中無休

●開館時間

午前9時00分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

●入館料

大人 300円
学生 130円(高校・大学)
小人 70円(小学・中学)

展示会場

高松塚壁画館

奈良県高市郡明日香村平田439

TEL0744-54-3340

<https://www.asukabito.or.jp>

<協力> 明日香村教育委員会文化財課

